

# 最近の経済動向

## 令和2年3月号

(北海道の景気動向～令和2年1月の経済指標を中心として)

### 持ち直しの動きが鈍化している

#### ■生産動向

P1 生産活動(鉱工業生産指数)

弱い動きが続いている

#### ■需要動向(消費・投資)

P2 個人消費(百貨店・スーパー・コンビニエンスストア・専門量販店販売額、新車登録台数)

足踏み状態となっている

P5 住宅建設(新設住宅着工戸数)

減少している

P6 公共工事(公共工事請負金額)

増加している

P7 観光(来道者数、来道外国人数)

改善の動きに弱さがみられる

P9 輸出入(輸出額、輸入額)

輸出額、輸入額とも前年を下回った

#### ■企業倒産

P10 企業倒産(倒産件数、負債総額)

倒産件数は前年と同数、負債総額は減少した

#### ■雇用動向

P12 求人・求職(月間有効求人数・求職者数、月間有効求人倍率、完全失業率)

改善が進む中、人手不足感がみられる

#### ■物価動向

P14 物価(消費者物価指数)

消費者物価指数は前年を上回った

#### ■企業の業況感

P15 企業経営者意識調査

前期から下降している

P16 企業のみなさまから伺いました

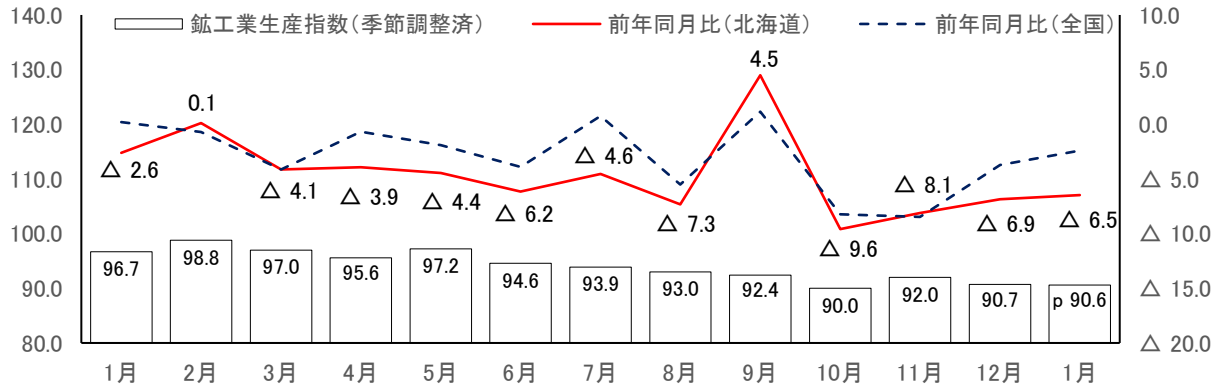
# 生産活動～弱い動きが続いている

## 鉱工業生産指数（1月）

鉱工業生産指数（季節調整済）は、90.6で前月比 $\Delta 0.1\%$ （2か月連続の低下）であり、原指数による前年同月比は、 $\Delta 6.4\%$ （4か月連続の低下）となった。業種別にみると、輸送機械工業等6業種が前月比低下、化学・石油石炭製品工業等9業種が前月比上昇となった

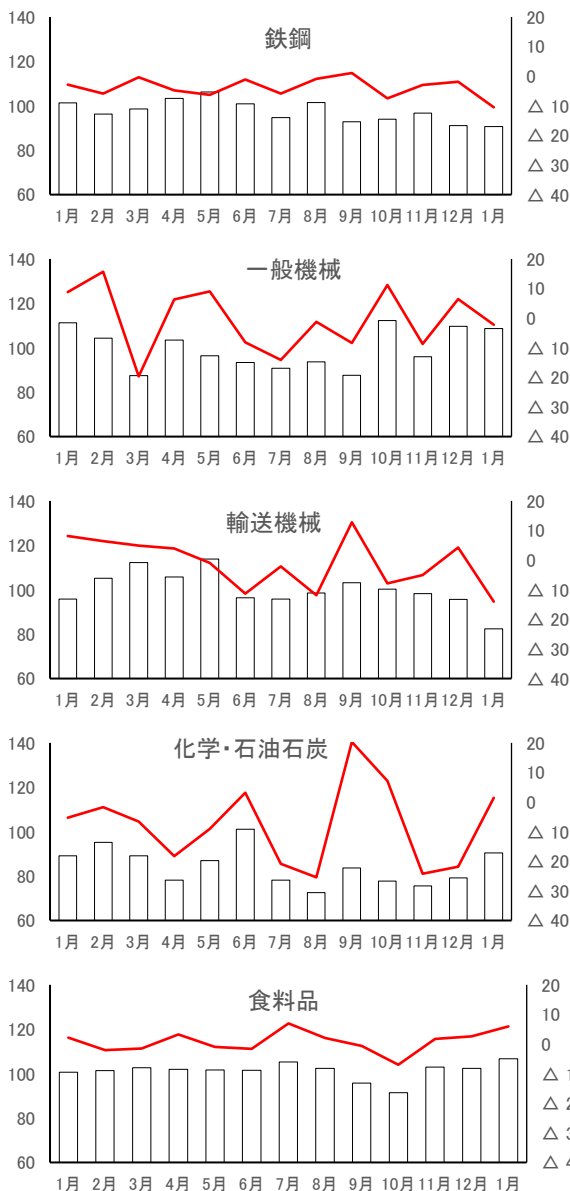
（季節調整済指数：平成27年＝100）

（原指数前年同月比：％）



\*「p」は速報値

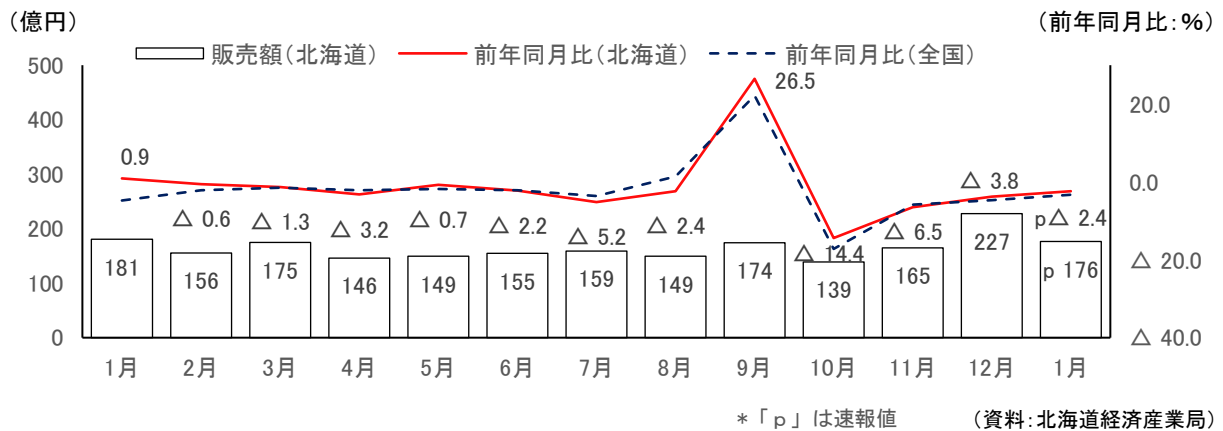
## ■主な業種の季節調整済指数(右軸:原指数前年同月比%)



## ■個人消費～足踏み状態となっている

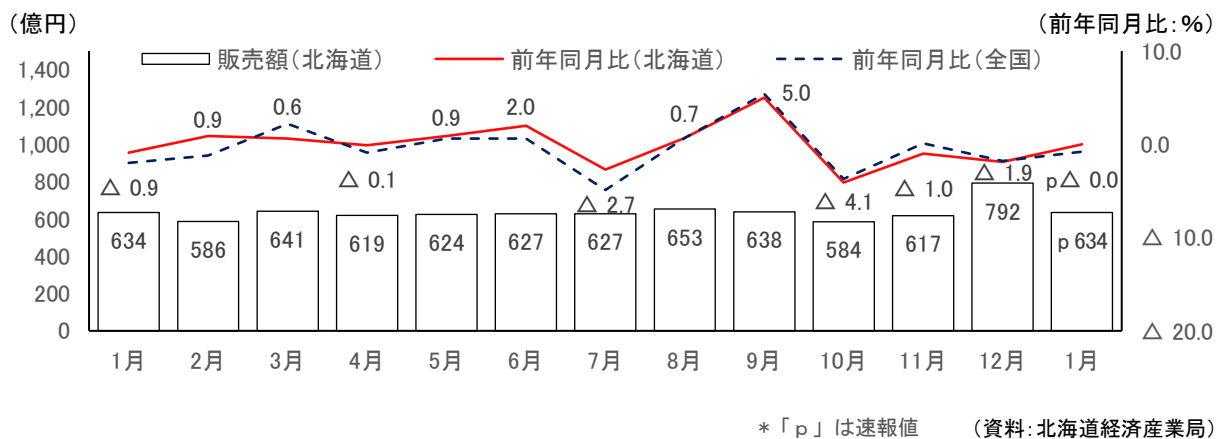
### 百貨店販売額（1月）

百貨店販売額は、176 億円で前年同月比 2.4%の減少となり、4 か月連続で前年を下回った。



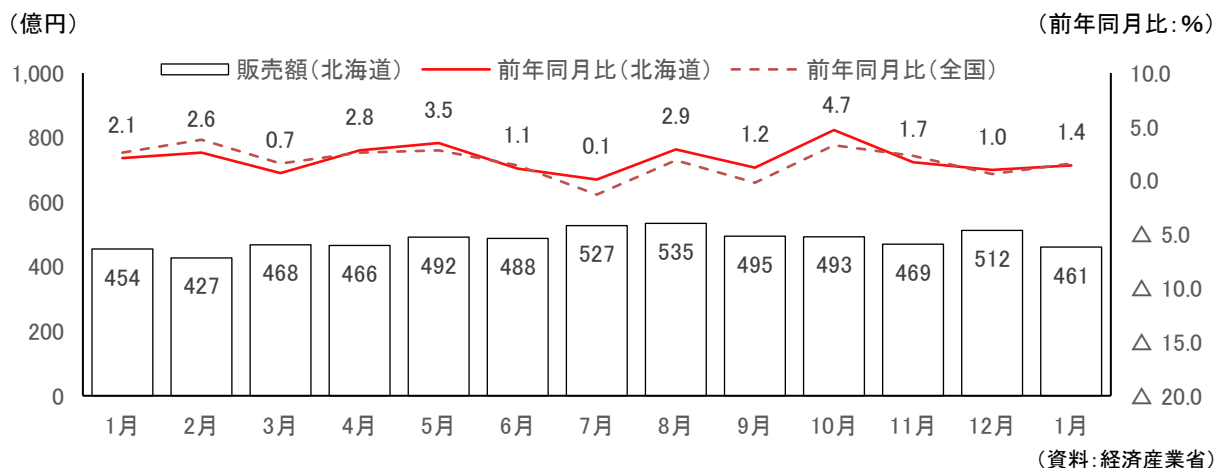
### スーパー販売額（1月）

スーパー販売額は、634 億円で前年同月比 0.0%の減少となり、4 か月連続で前年を下回った。



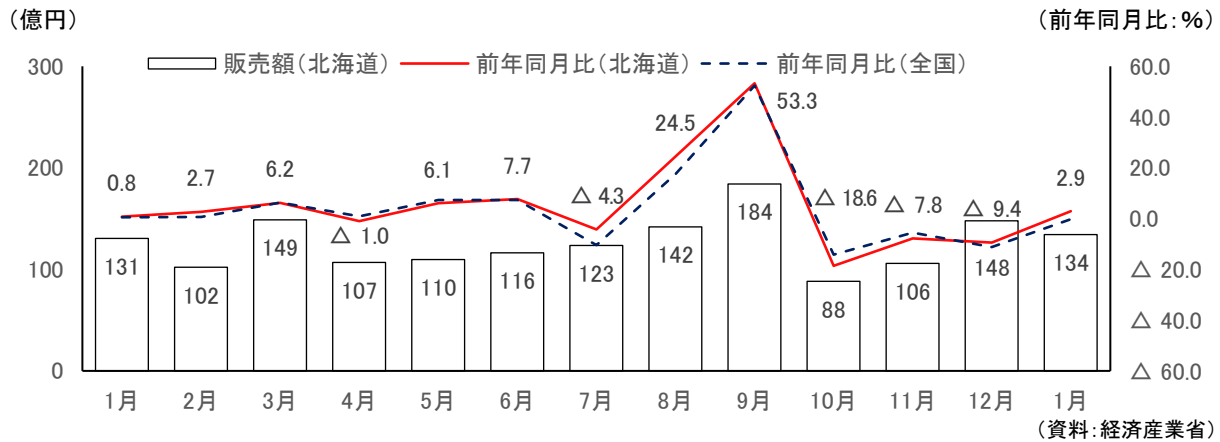
### コンビニエンスストア販売額（1月）

コンビニエンスストア販売額は、461 億円で前年同月比 1.4%の増加となり、15 か月連続で前年を上回った。



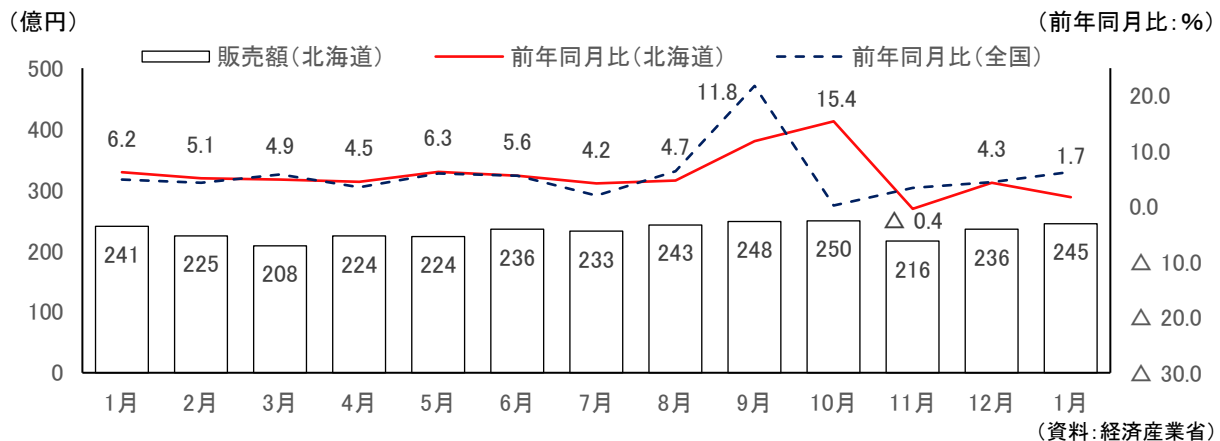
## 家電大型専門店販売額（1月）

家電大型専門店販売額は、134億円で前年同月比2.9%の増加となり、4か月ぶりに前年を上回った。



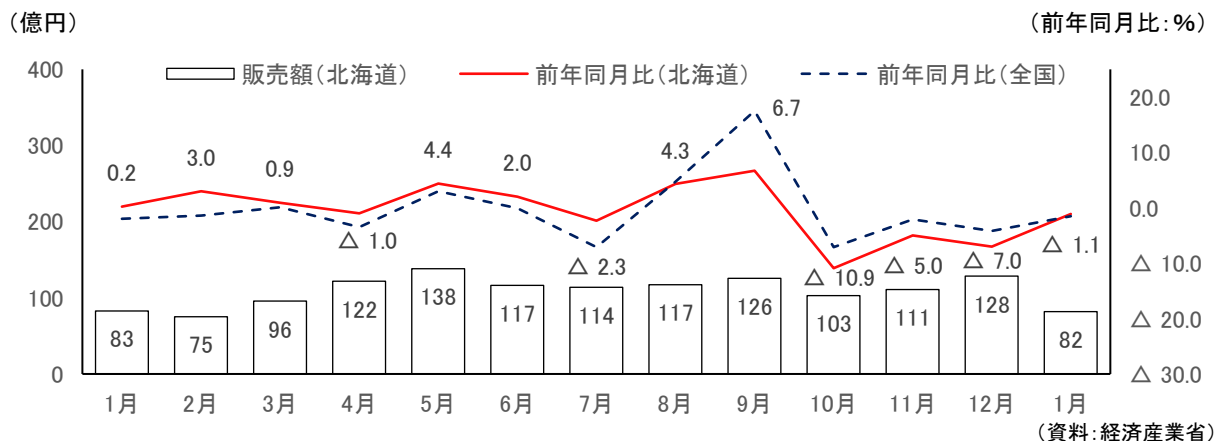
## ドラッグストア販売額（1月）

ドラッグストア販売額は、245億円で前年同月比1.7%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。



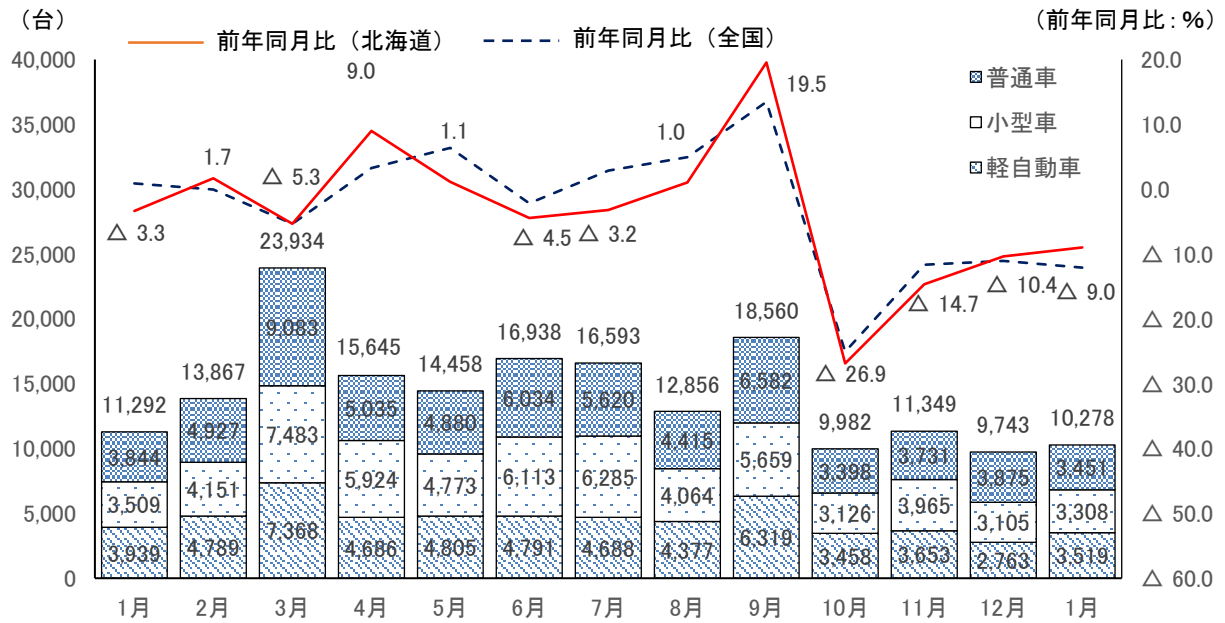
## ホームセンター販売額（1月）

ホームセンター販売額は、82億円で前年同月比1.1%の減少となり、4か月連続で前年を下回った。

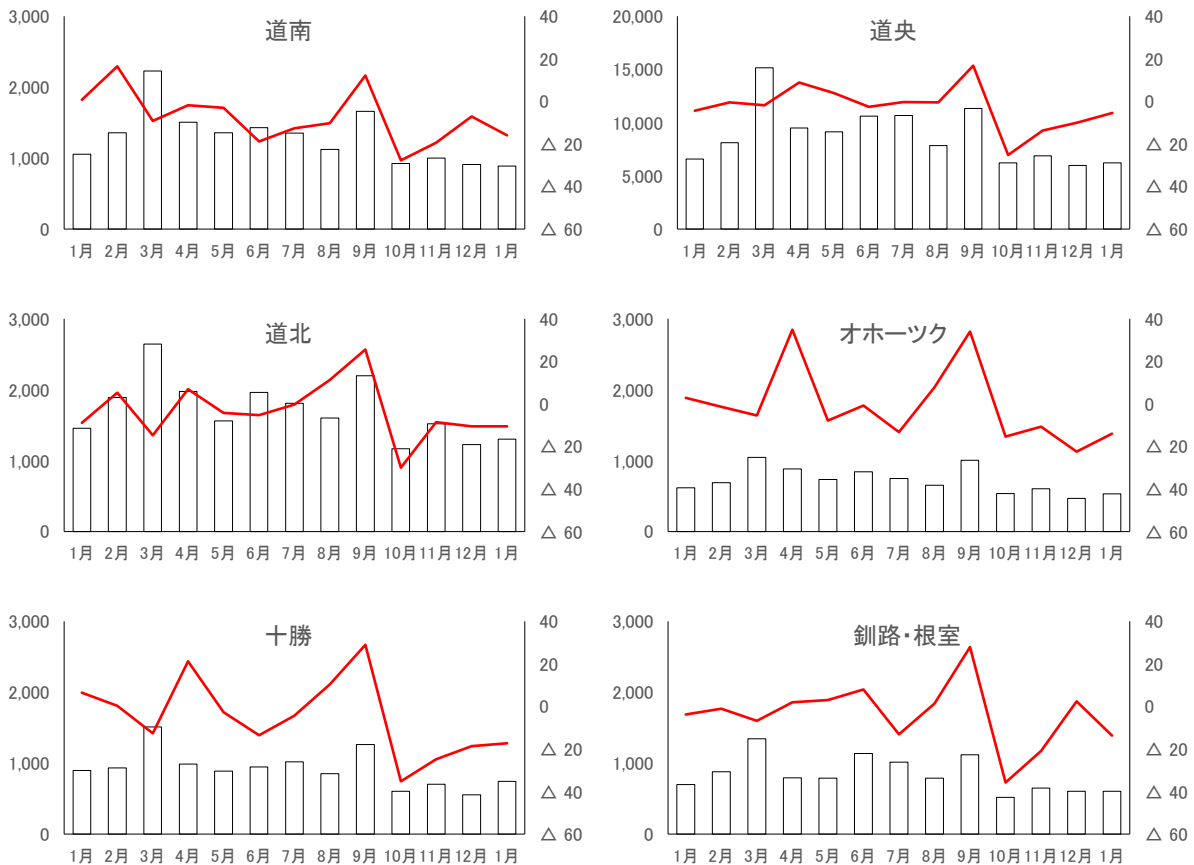


## 新車登録台数（1月）

新車登録台数は、10,278台で前年同月比9.0%の減少となり、4か月連続で前年を下回った。  
 車種別にみると、普通車は、3,451台で同10.2%の減少、小型車は、3,308台で同5.7%の減少、軽自動車は、3,519台で同10.7%の減少となった。



### ■各圏域の新車登録台数（右軸：前年同月比%）



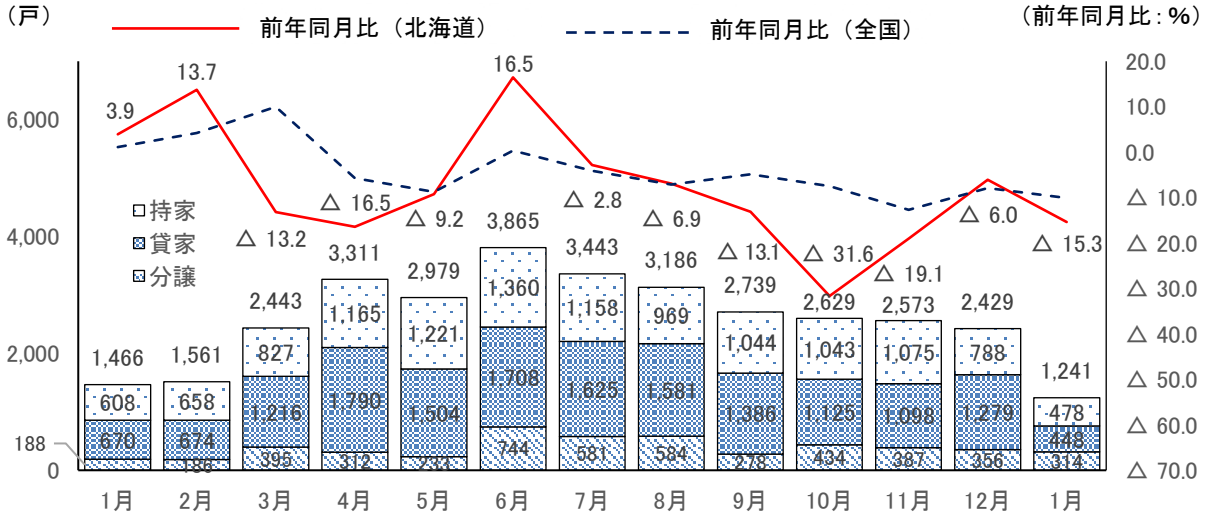
（資料：（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会）



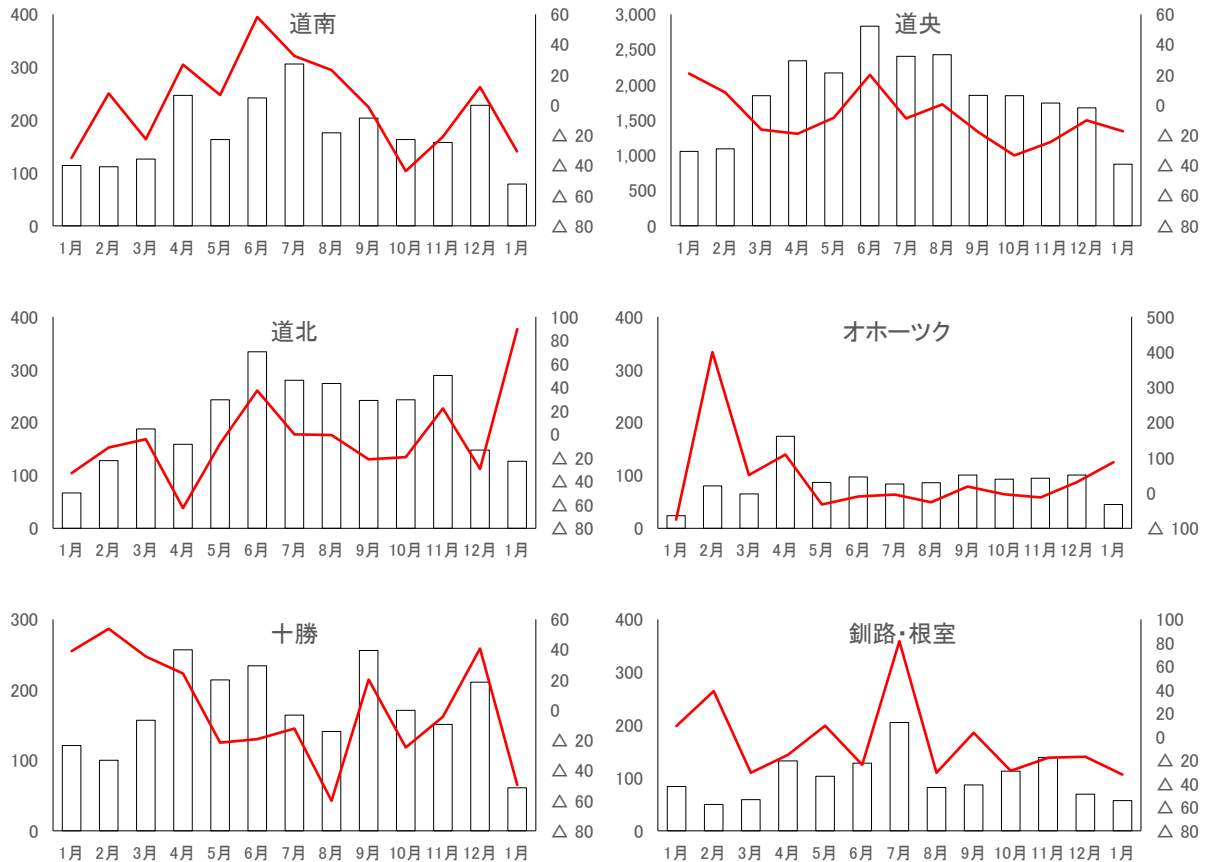
# ■住宅建設～減少している

## 新設住宅着工戸数（1月）

住宅着工戸数は、1,241戸で前年同月比 15.3%の減少となり、7か月連続で前年を下回った。  
 利用関係別にみると、持家は、478戸で同 21.4%の減少、貸家は、448戸で同 33.1%の減少、分譲住宅は、314戸で同 67.0%の増加となった。



## ■各圏域の新設住宅着工戸数（右軸：前年同月比%）

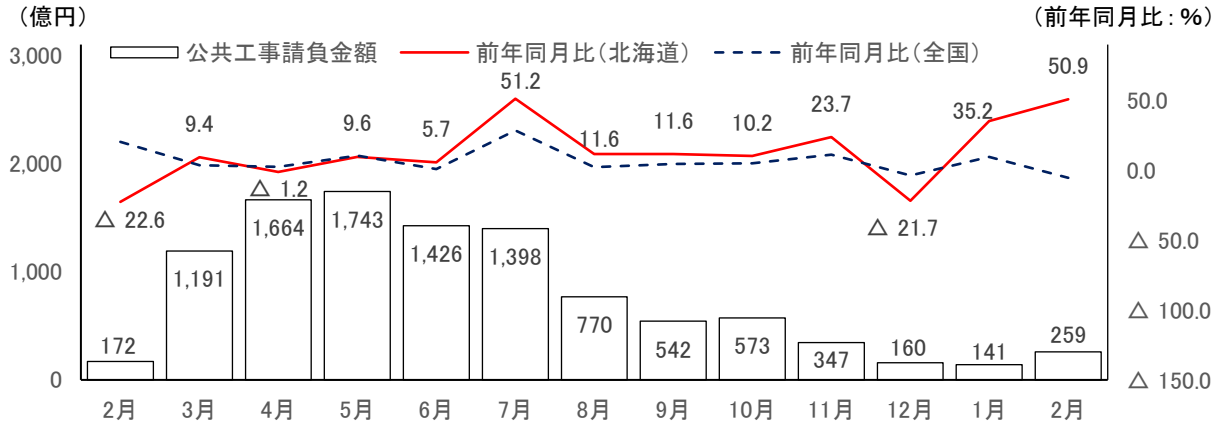


(資料:国土交通省)

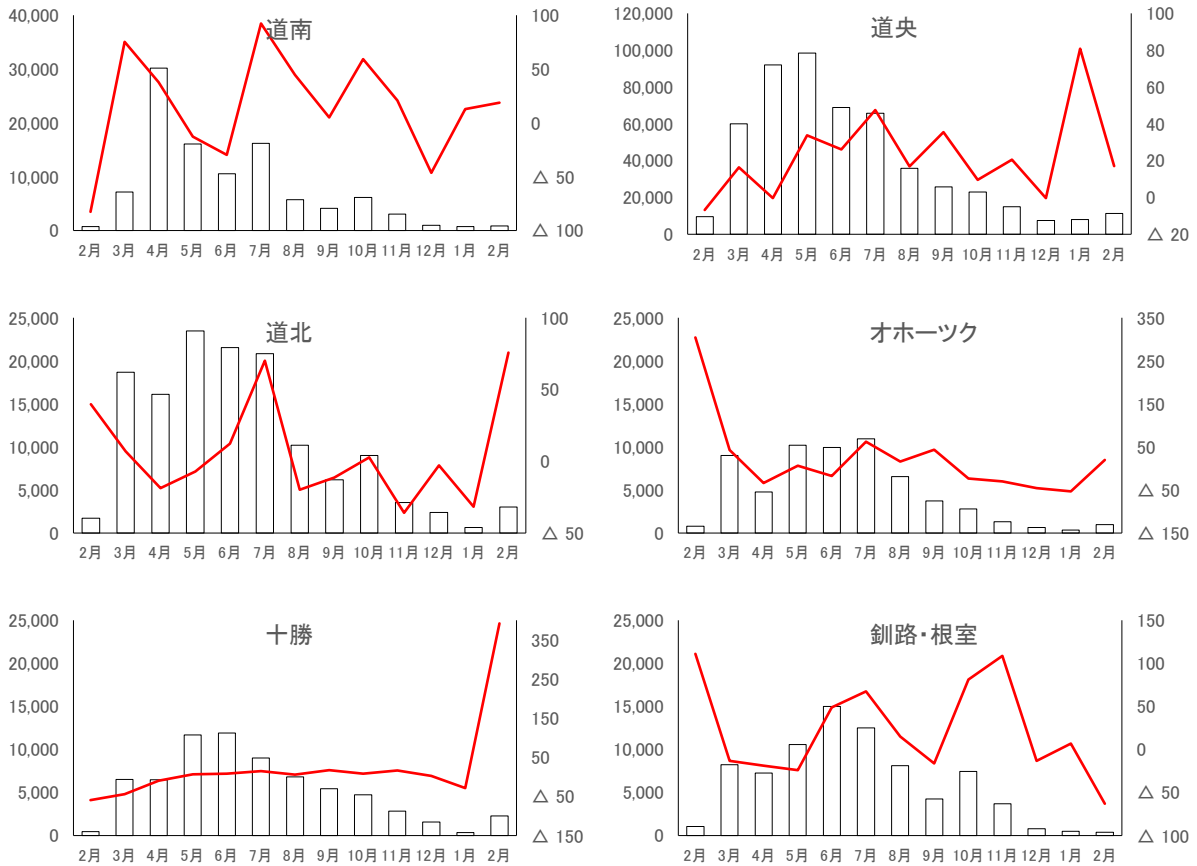
# ■公共工事～増加している

## 公共工事請負金額（2月）

請負金額は、259億円で前年同月比50.9%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。



## ■各圏域の公共工事請負金額（左軸：百万円、右軸：前年同月比%）



(資料:北海道建設業信用保証(株))



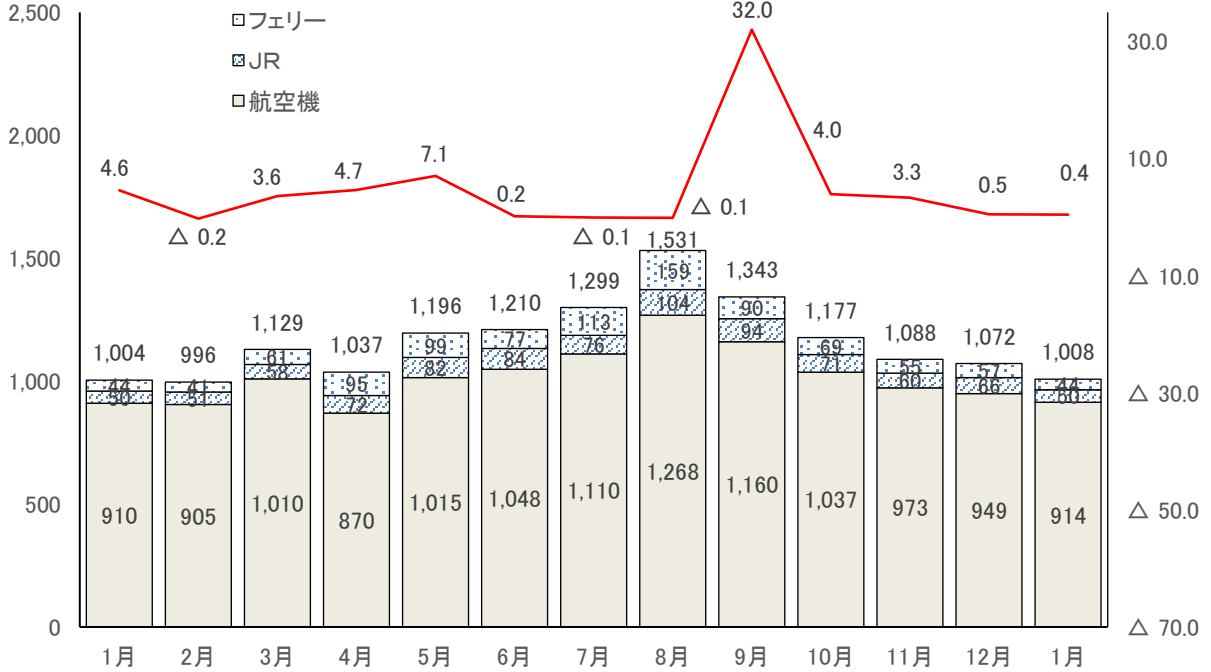
# ■観光～改善の動きに弱さがみられる

## 来道者数（1月）

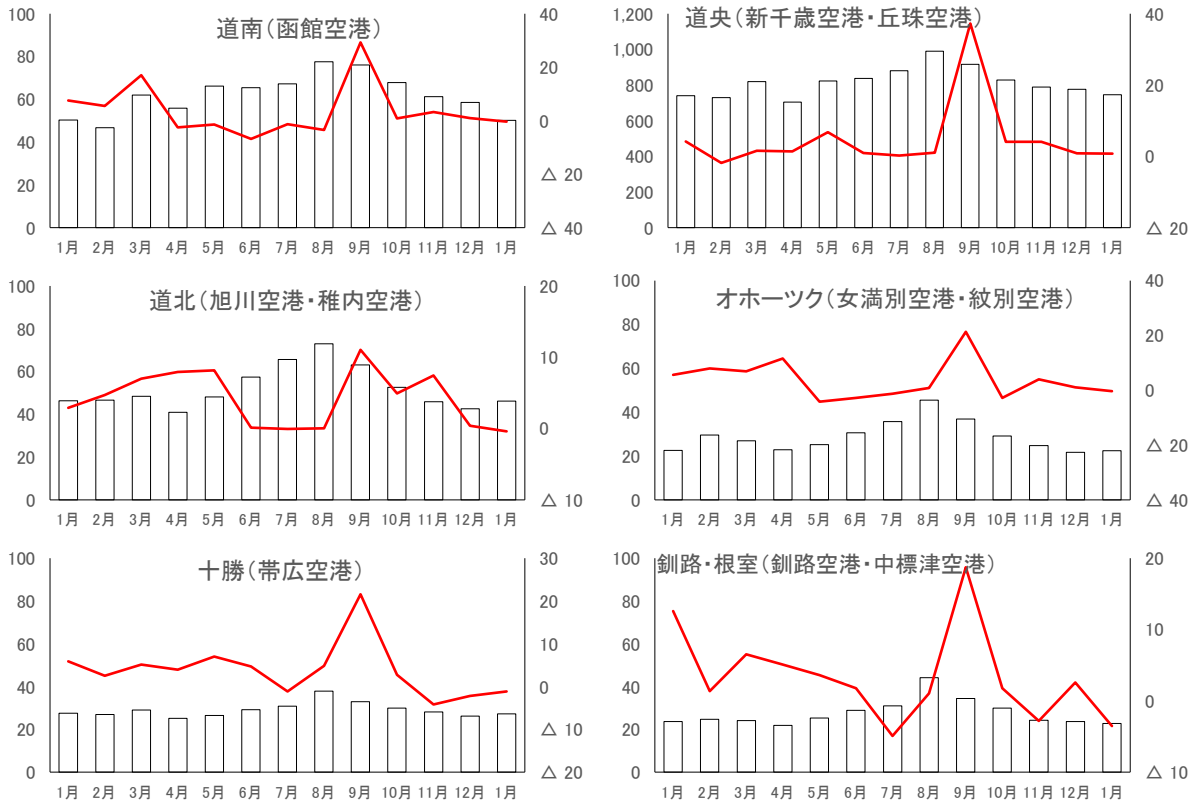
来道者数は、100万8千人で前年同月比0.4%の増加となり、5か月連続で前年を上回った。

(千人)

(前年同月比：%)



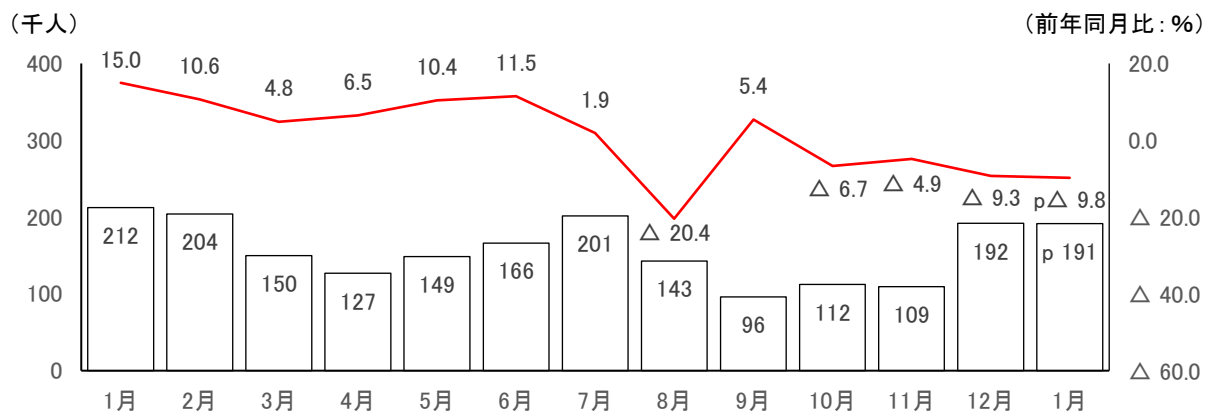
## ■各圏域の航空機利用による来道者数（左軸：千人、右軸：前年同月比%）



(資料：(公社)北海道観光振興機構)

## 来道外国人数（1月）

本道に直接入国した外国人は、19万1千人で前年同月比9.8%の減少となり、4か月連続で前年を下回った。



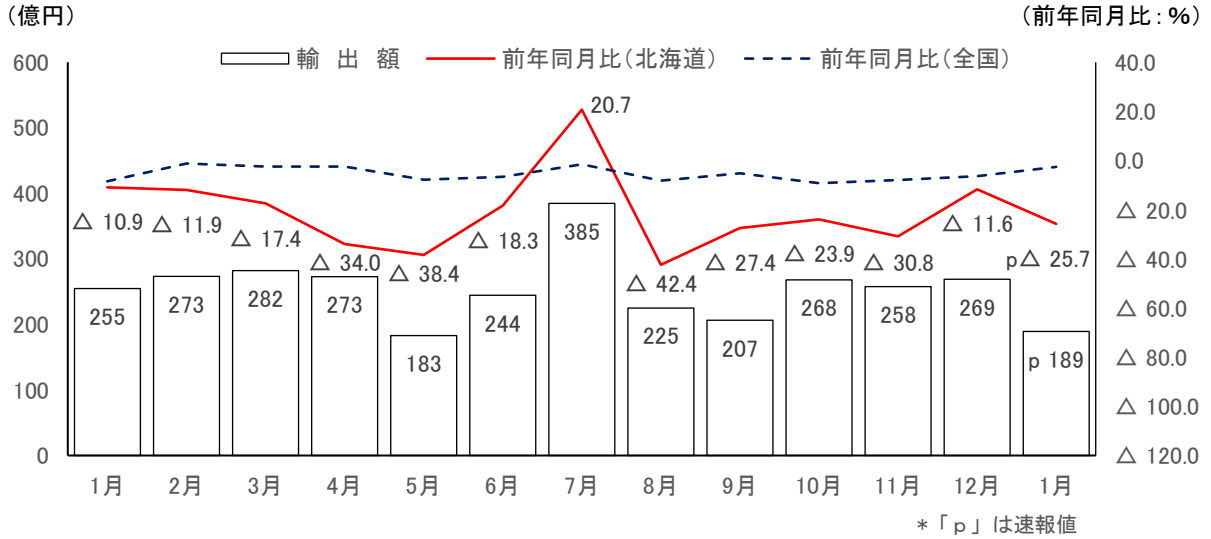
\* 「p」は速報値

(資料: 法務省入国管理局)

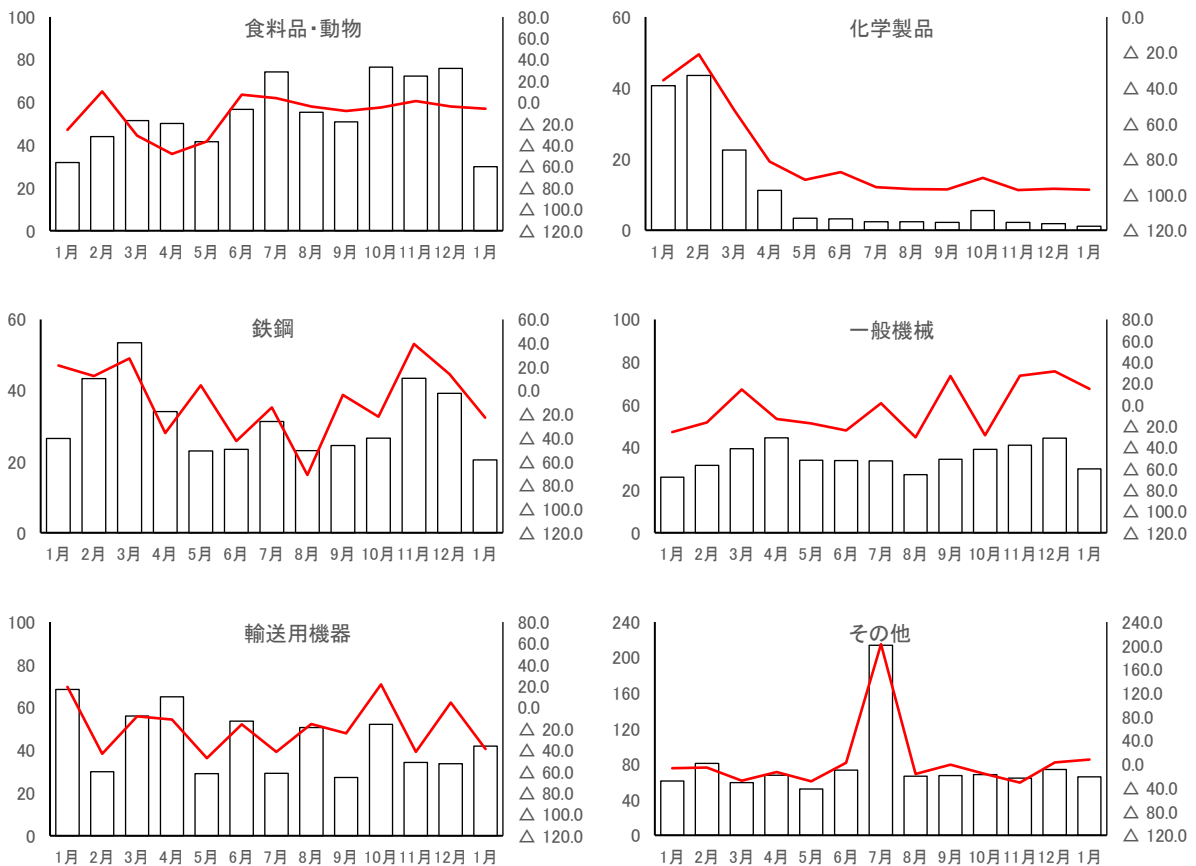
# ■輸出入～輸出額、輸入額とも前年を下回った

## 輸出額（1月）

輸出額は、189億円で前年同月比25.7%の減少となり、6か月連続で前年を下回った。品目別にみると、船舶、化学製品（有機化合物、鉱物性タール・粗製薬品）などが減少した。



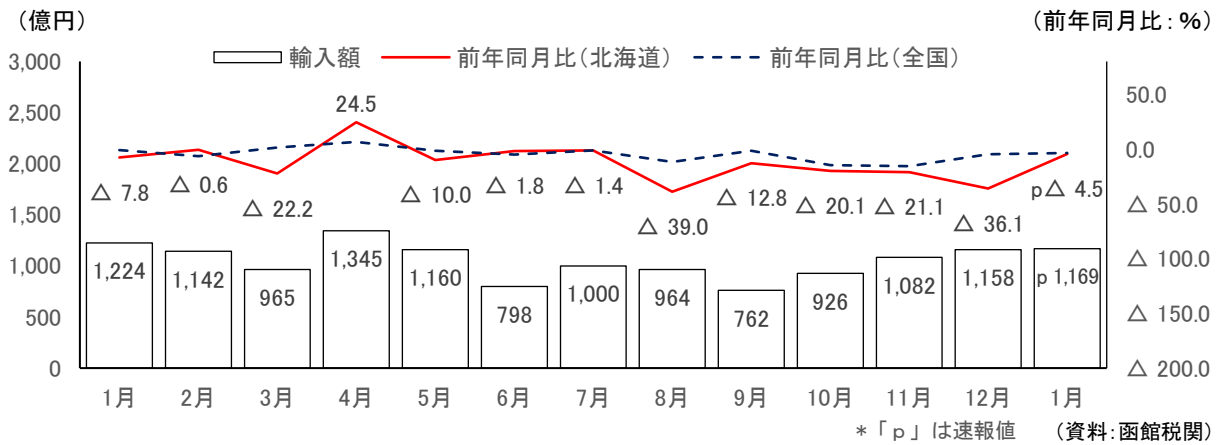
## ■種類の輸出額（右軸：前年同月比%）



(資料: 函館税関)

## 輸入額（1月）

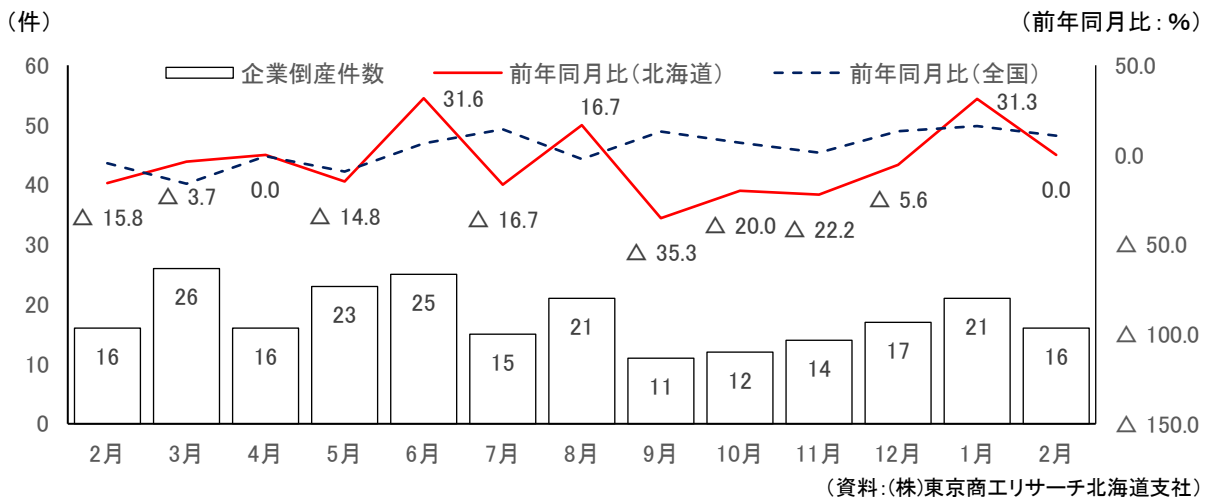
輸入額は、1,169億円で同4.5%の減少となり、9か月連続で前年を下回った。  
品目別にみると、石油製品、一般機械、ウッドチップなどが減少した。



## ■企業倒産～倒産件数は前年と同数、負債総額は減少した

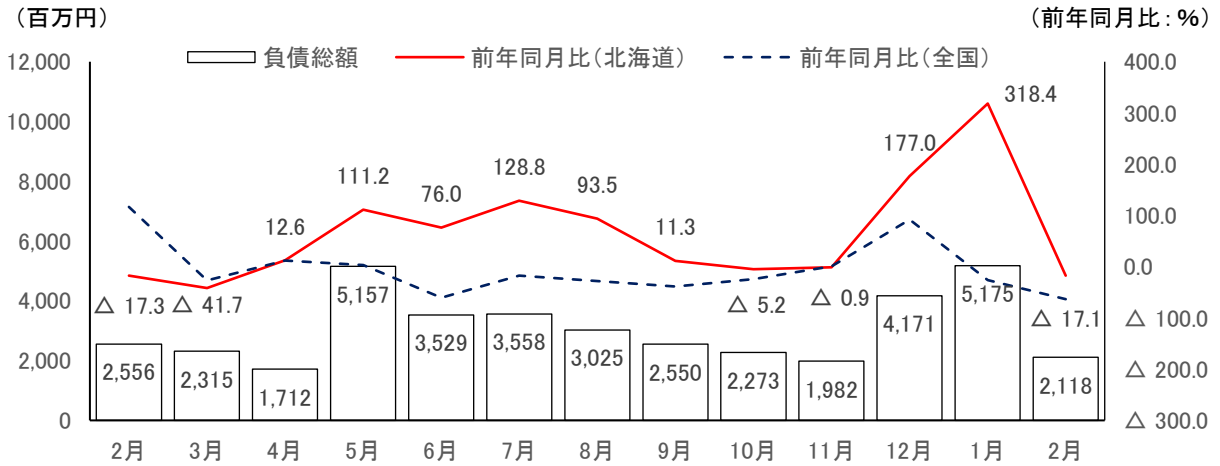
### 倒産件数（2月）

企業倒産件数は16件で前年同月と同数となった。  
原因別でみると、販売不振が13件（構成比81.3%）と半数以上を占めた。  
業種別でみると、サービス業が6件（同37.5%）、卸売業が4件（同25.0%）、製造業が3件（同18.8%）となった。

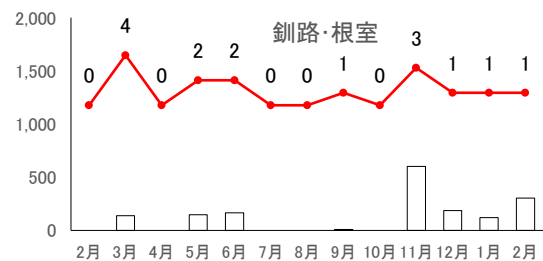
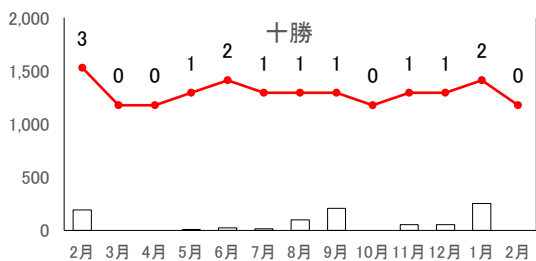
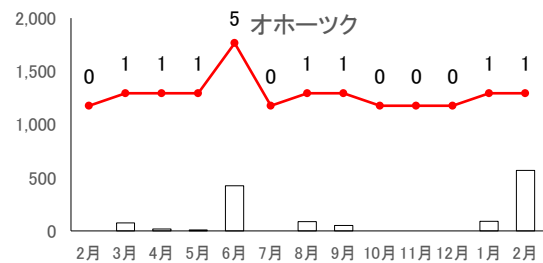
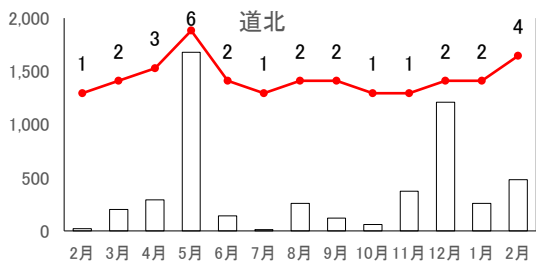
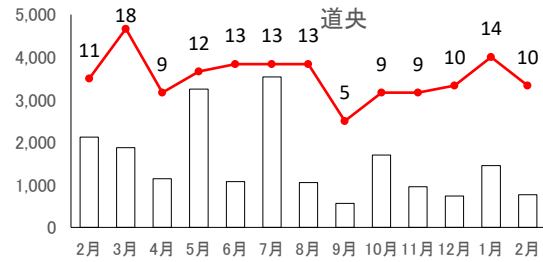
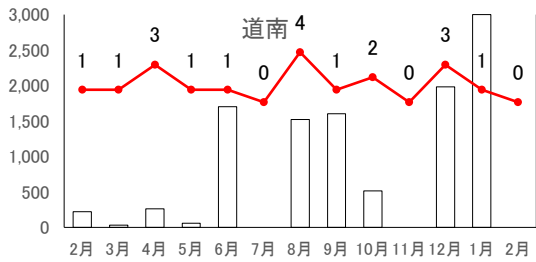


## 負債総額（2月）

負債総額は、21億18百万円で同17.1%の減少となり、3か月ぶりに前年を下回った。



### ■各圏域の負債総額と倒産件数（折れ線）

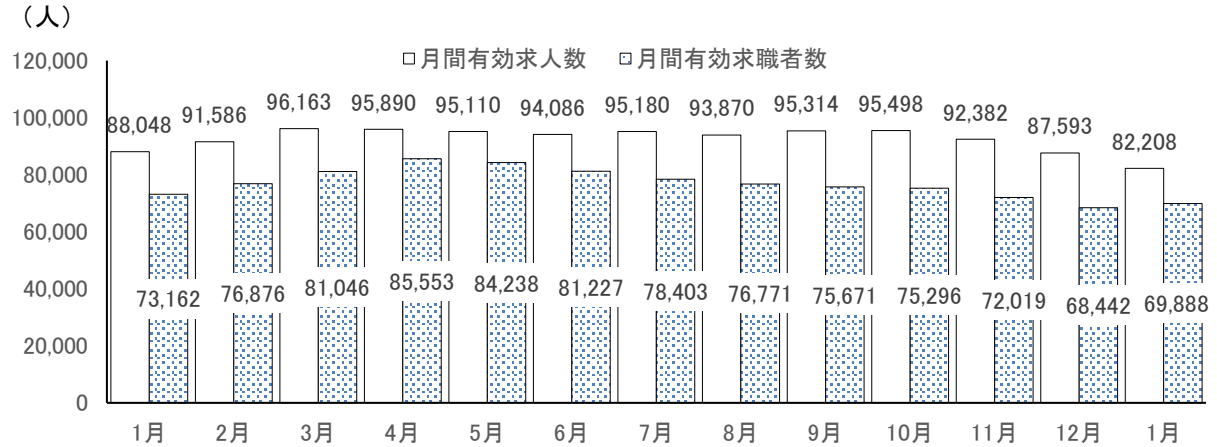


(資料):(株)東京商工リサーチ北海道支社)

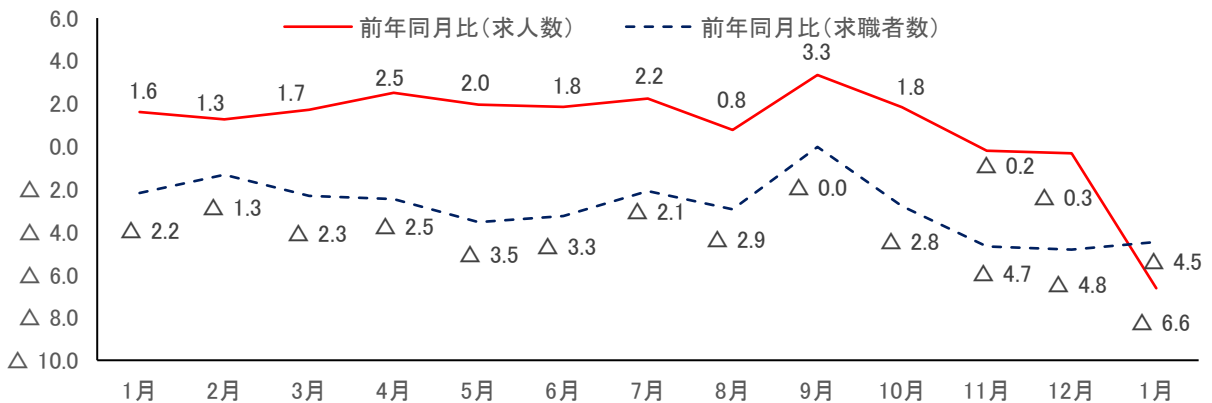
## ■求人・求職～改善が進む中、人手不足感がみられる

### 月間有効求人数・求職者数（1月）

月間有効求人数は、8万2,208人で前年同月比6.6%の減少となり、3か月連続で前年を下回った。月間有効求職者数は、6万9,888人で同4.5%の減少となり、99か月連続で前年を下回った。



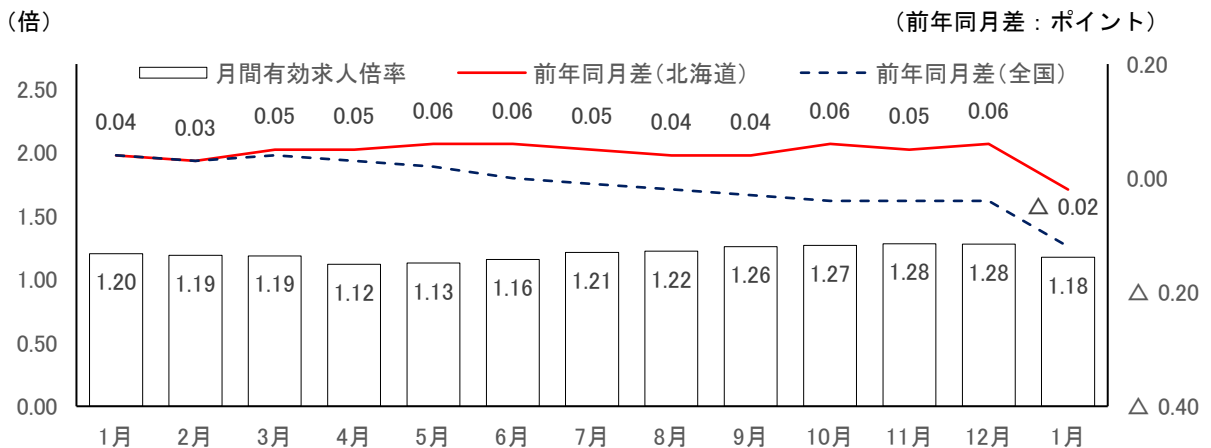
(前年同月比：%)



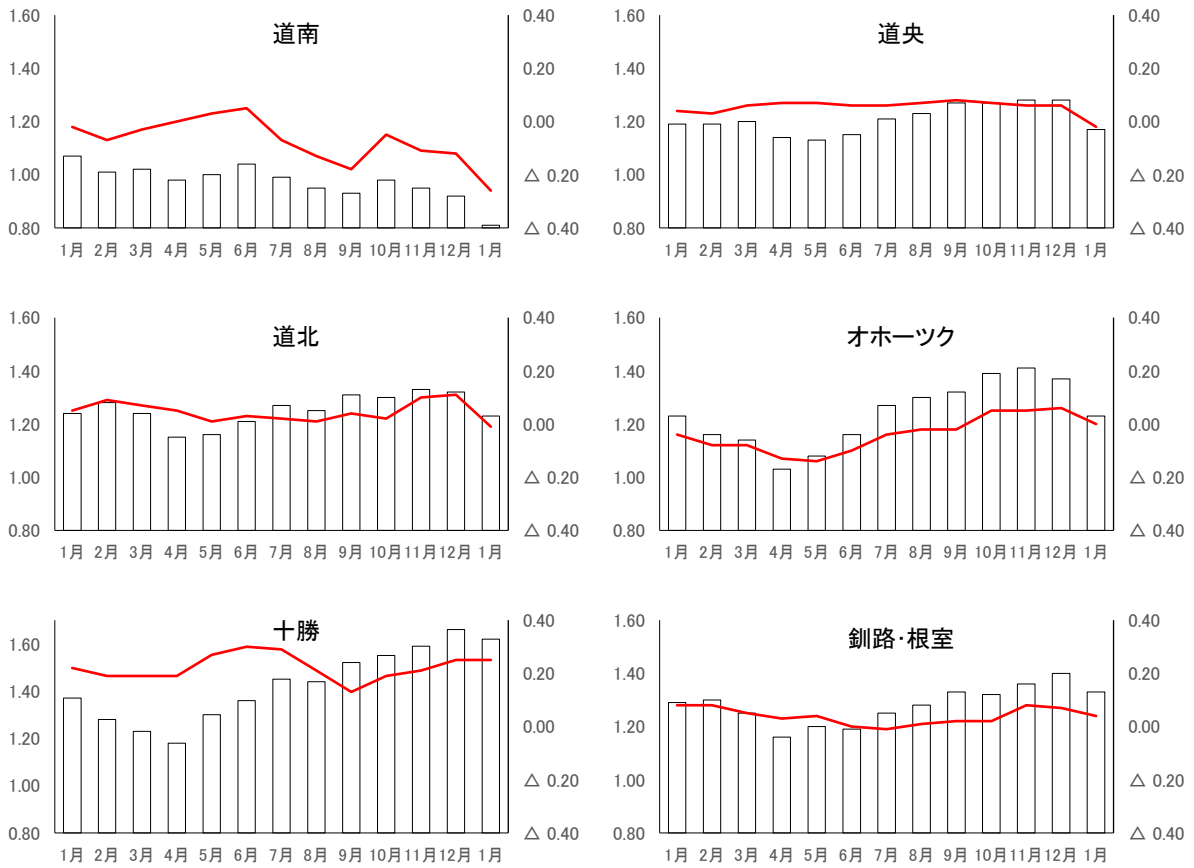
(資料：北海道労働局)

### 月間有効求人倍率（1月）

有効求人倍率は1.18倍で、前年同月差で0.02ポイントの減少となり、120か月ぶりに前年を下回った。



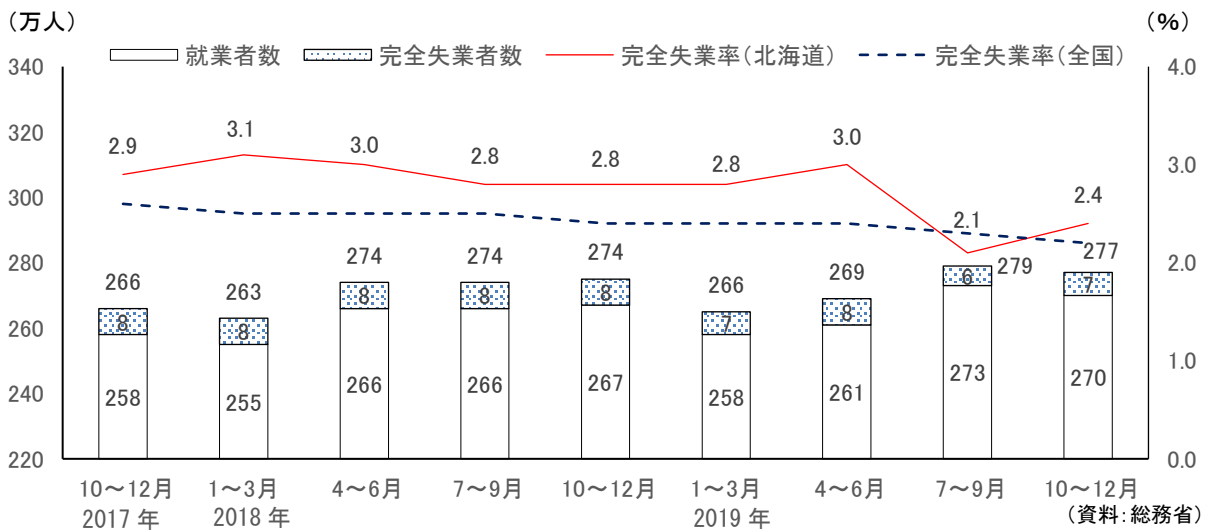
■各圏域の月間有効求人倍率（右軸は前年同月差）



(資料: 北海道労働局)

完全失業者数、完全失業率（令和元年10月～12月）

完全失業者数は、7万人で前年同期と比べ、1万人の減少となっている。  
完全失業率は、2.4%で前年同期と比べ、0.4ポイント低下となっている。

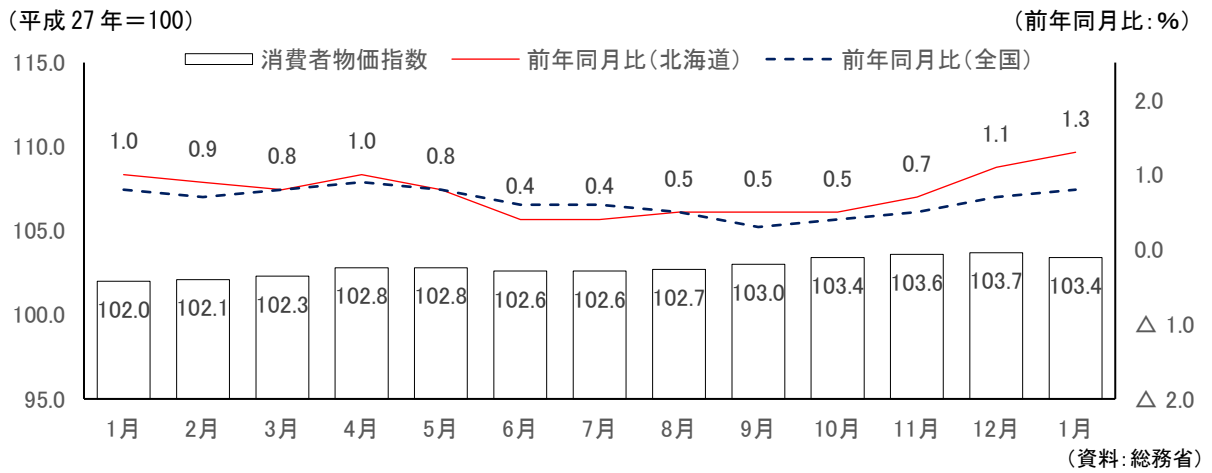


(資料: 総務省)

## ■物価～消費者物価指数は前年を上回った

### 消費者物価指数（1月）

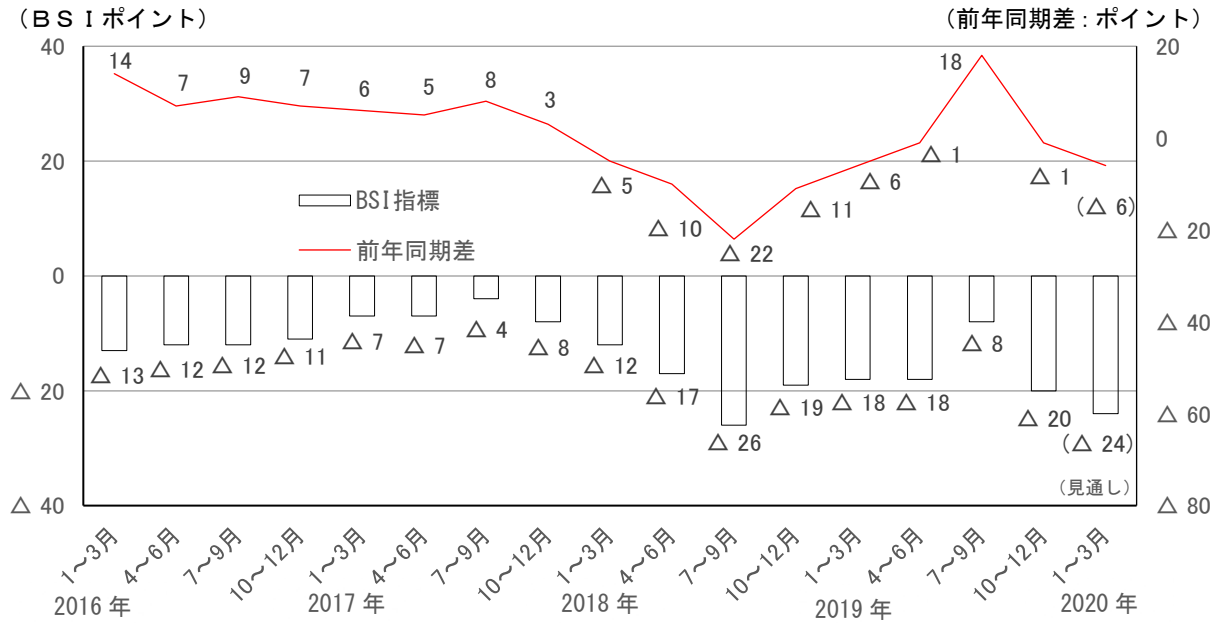
消費者物価指数（生鮮食品を除く）は、103.4で前年同月比1.3%の上昇となり、38か月連続で前年を上回った。



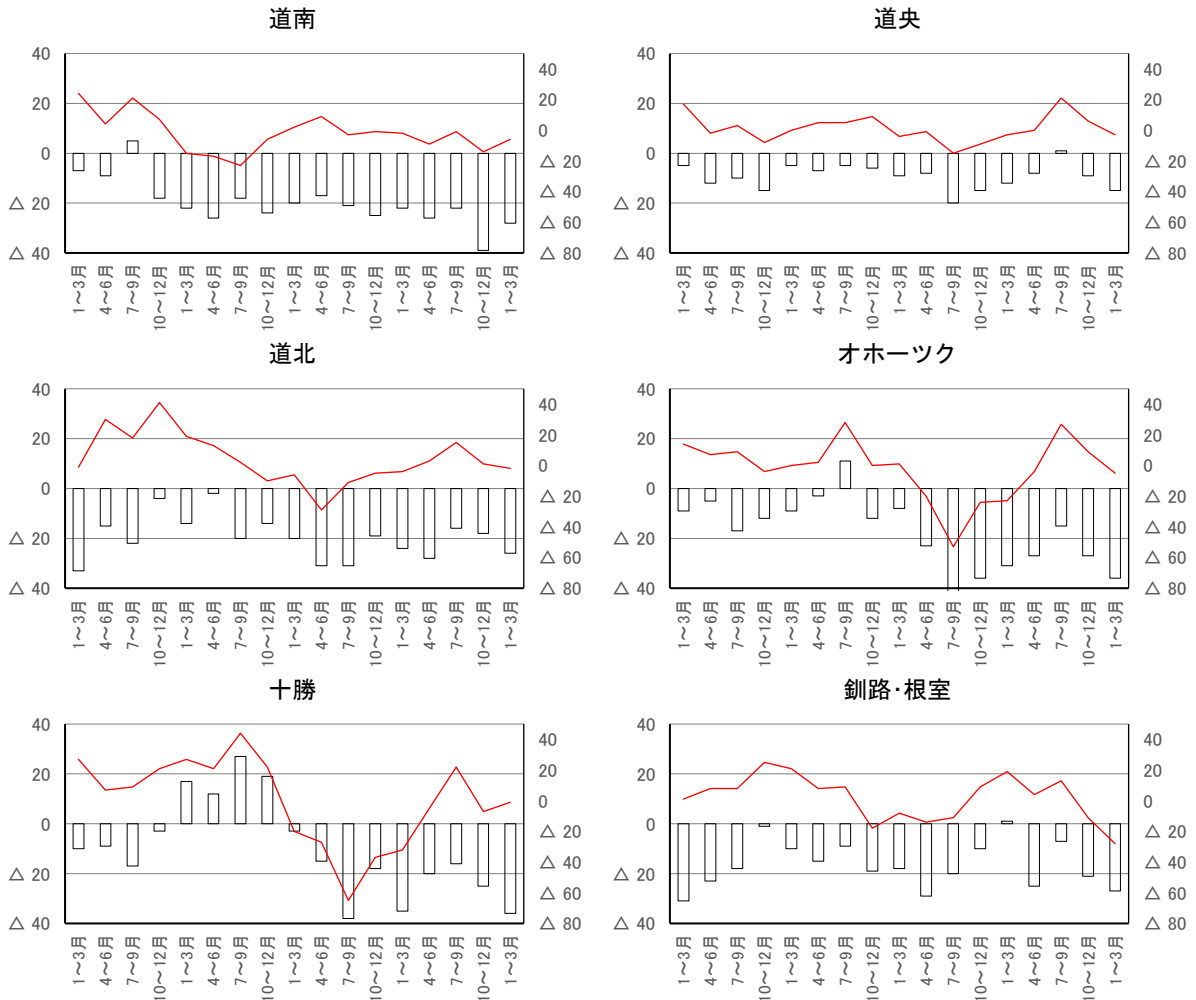


## ■企業経営者意識調査～前期から下降している

令和元年10～12月期の業況感BSIは△20で、前期から12ポイント下降しており、前年同期より1ポイント下降している。来期は△24ポイントで、今期から4ポイント下降の見通しとなっている。



## ■各圏域の業況感BSI (右軸：前年同期差)



(北海道経済部調べ)

## ■企業のみなさまから伺いました

### ◆スーパー（道央地域）

#### 【保存がきく食品などの売上が増加】

新型コロナウイルスの影響で、全体的にカップ麺や米など保存がきく商品の売上が伸びた。学校の休校に伴い、特に冷凍食品の米飯やパスタ等など昼食用の食品も伸びたほか、健康への効果が期待されたためか、納豆、ヨーグルトなどの売上が伸びた。また、デマによる需要増により、トイレットペーパー等の品切れが発生した。

#### 【「緊急事態宣言」で来店客が急増】

緊急事態宣言が夕方に発表された後、来店客が急増し、その日の夜は生鮮食品も含めて多くの商品が品切れとなった。その後、週末の客数の増加に加え、平日午前中の客数も増えている一方、学校の休校に伴い高校生のアルバイトも不可となり、人員不足で苦慮している。

### ◆コンビニエンスストア（道央地域）

#### 【客足は鈍いが売上は安定】

2月は大雪や暴風雪などの影響があったが、全般的には安定した売上となった。新型コロナウイルス感染症の影響で観光地の客足は日に日に鈍くなり、特に都市部ホテル周辺や温泉地、スキーリゾートの店舗で影響が出ている。

#### 【中食・内食の需要が増加】

外出を控える動きがある一方、中食・内食の需要が高まっており、一人あたりの購入金額は増加している。また、テレビ報道やネットで拡散された情報をもとに、免疫力向上が期待できる食品や紙類の販売が増加した。

## 最近の経済動向

令和2年3月号

---

編集・発行 北海道経済部経済企画局経済企画課

TEL 011-204-5139

---

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>